

課題番号13

- 「一定の基準値に達するまで整数をどんどん足し算していく」という機能のクラスSumUpを作成してみましょう。仕様は以下の通りです。
 - フィールドは基準値 target と、現在の合計値 currentSum どちらも整数
 - コンストラクタは整数を引数とし, targetに代入する currentSumもコンストラクタで初期化する
 - mainとコンストラクタ以外に, メソッドは以下の三つ
 - add 引数の値を合計に足す
 - isNotOver 現在の合計値が基準値を超えていなければ true, そうでなければfalseを返す
 - getCurrentSum 現在の合計値を返す

課題番号13

- mainメソッドは以下のような流れとします.
 1. キーボードから基準値を入力
 2. 基準値を使ってオブジェクト生成
 3. 以下4～6を, 合計が基準値を超えない間繰り返す
 4. キーボードから整数を入力
 5. 入力された値を合計値に足す
 6. 現在の合計値を表示する
 7. 最後にメッセージを表示して終了

ヒント

繰り返し回数が、事前にはわからない点に注目

クラス図

SumUp
-currentSum: int -target: int
+SumUp(target: int) +add(num: int): void +isNotOver(): boolean +getCurrentSum(): int <u>+main(args: String[]): void</u>

課題13の実行例(1), (2)

基準値を入力してください: 1000

整数を入力してください: 350

合計: 350

整数を入力してください: 500

合計: 850

整数を入力してください: 420

合計: 1270

1000を超えたので終了します

基準値を入力してください: 300

整数を入力してください: 4500

合計: 4500

300を超えたので終了します

青字の部分は
からの入力
キーボード

課題13の実行例(3), (4)

基準値を入力してください: 750

整数を入力してください: 400

合計: 400

整数を入力してください: 200

合計: 600

整数を入力してください: 150

合計: 750

整数を入力してください: 300

合計: 1050

750を超えたので終了します

基準値を入力してください: -3000

-3000を超えたので終了します

青字の部分は
からの入力
キーボード